

【議事録】2021 年 8 月 3 日 原子力学会遮蔽標準作業会 第 32 回会合

1. 日時：2021 年 8 月 3 日（火） 14:00-16:30

2. 場所：WebTEAMS

3. 出席者：【敬称略：順不同】

【委員】（フジタ）木村(主査)、(原安技センター)吉田、
(日環研)大石、(CTC)石川、(海技研)平尾、(竹中工務店)前中、(清水建設)小迫、
(エネ総研)田中(14:30 まで)、(日立 GE)竹生、(ATOX)坂本、(NDC)中田(副主査：文責)

【常時参加者】(ATOX)河野、

【オブザーバー】(北大)中島

4. 議事

2021 年 6 月 29 日開催の第 31 回作業会と 7 月 29 日開催の材料組成 WG の協議結果を踏まえ、材料組成検討状況及び今後のアクションプランの協議、学会スライドたたき台紹介と全体工程確認を実施した。

以下に、議事要旨を示す。

【会議資料】

①R1_2021.08.03 原子力学会遮蔽分科会 遮蔽材料作業会 #32 会合議事次第：中田

②【議事録】_2021.06.29_原子力学会遮蔽標準作業会#31 会合(R0)：中田

③-1_2021.07.29 材料組成WG会議事録(R1)：奥野幹事

③-2_20210629 65℃水分検討：前中委員

④_遮蔽材料標準大工程(案)#31 作業会用(R6)：中田

⑤_2021 年秋の年会(18)(DC)：中田

【議事要旨】

(1) 現状確認(中田：資料①、②)

本日協議事項の紹介と前回議事録の確認を行った。材料組成 WG での規定組成に係る協議の説明は、奥野幹事の欠席、前中委員の出席が遅れることから後半で実施した。

(2) 2021 年原子力学会秋の大会スライド(中田：資料⑤)

秋の大会で発表する“組成検討進捗状況と線量率影響評価での γ 線挙動検討”に係るスライドのたたき台(8/2 に事前配布済み)を中田から説明した。組成検討については、次回材料組成 WG の段階で提示できる内容をスライド(p.6・8)に記載頂くよう材料組成 WG メンバーに依頼した。 γ 線挙動検討については、修正・追記とともに、追加計算を実施頂く ATOX 河野常時参加者に内容確認した。発表手続の関係で、8 月下旬までに最終ドラフトを完成する必要がある。

(3) 工程(中田：資料④)

大工程に線量率影響評価条件設定工程を加えた修正版を、中田から説明した。条

件設定については、中田から別途文書で材料組成 WG へ依頼するとともに、附属書及び解説の工程と残作業については口頭で確認した。追って具体的項目を中田から提示する。現段階では 2023 年 3 月発行を目標とし、今後の作業後れ期間分が発行遅延となる。

(4) 材料組成検討状況(前中委員、中田：資料③-1,2)

材料組成 WG 協議結果に関する説明は前中委員が行い、今後の対応方針については中田が議長役で協議した。協議結果は以下の通りである。

- ① 水分量については前中委員の検討に基づきコンクリートバルクが 65℃での含有量を最小値とし、文献や他の測定データにより内面がこれより低い温度であることを根拠に、付加的水分量を考慮できるか検討する。(奥野幹事とりまとめで、前中委員、大石委員、木村主査を中心に材料組成 WG で実施)
- ② 前中委員にバルク 65℃での水分量として、 $0.2C+0.021(t/m^3 : C \text{ はセメント量})$ に相当する H の原子数密度を計算していただく。
- ③ その他の元素組成については、7/29 の材料組成 WG での協議結果に基づき Si や Ca への単純化方針は変えずに、基となるベースデータを見直すこととし、そのアクションプランを、次回材料組成 WG で水分検討と合わせて、協議・決定する。
- ④ 元素組成データについては、前回材料組成 WG での文献データ整理結果（奥野幹事提出）に加え、フジタのデータ（木村主査が整理中）と、「ふげん」等の他の公開データも考慮し整理する。
- ⑤ 材料組成 WG の開催は、お盆明け位を目途に奥野幹事が日程調整する(8/11 現在、8/23 以降で調整中)。
- ⑥ 学会発表スライド案(作業会メンバーに配布済み 8/2)について、9 月の発表段階で提示できる材料組成検討成果（スライド p.6-8)を作成頂く（発表手続のため 8 月後半中に）。

5. その他

次回第 33 回作業会は、次回材料組成 WG 検討結果の共有とスライド最終ドラフトの紹介を焦点に、8 月末～9 月頭に実施予定とする。

以上